	事業所名	放課後デイサービス 第2アップル・	支援プログラム	」(参考様式)	作成日	2024 年	<mark>7</mark> 月	<sub>18</sub> 日
法人(事業所)理念 発達に遅れや偏りのあるお子さんを対象として、人間としての尊厳が守れ、豊かな人生を自己実現できるように、楽						ごし大きく成長す	ることを目指	します。
支援方針		子供たちが日常における基本的動作及び知識技 と集団支援とのバランスを考えながら(健康・ 帯を包含した支援計画に沿った支援をします。	能を習得し、並びに集団生活に適 生活 運動・感覚 認知・行動 放課後の貴重な時間を家庭、学校	応することができるよう、個々 言語・コミュニケーション 人 、第三の居場所として安心、安	の子供たちのスキルに合れ 間関係・社会性)の5領域 全、穏やかに過ごせる環境	)せたプログラム と合わせ家族支持 きを作ります。	を作成し支援 爰、移行支援、	∪ます。個別支援 地域支援、地域連
営業時間		月〜金 15時 時 0 分から 圡・休校日 10時 時 0 分から		送迎実施の有無	高島市内			
				支援内容	•			
本人支援	健康・生活	・学校、家庭と連絡を密にし健康状態を常に把 ・検温、手洗い、消毒、睡眠など生活リズム、 ・食事、排泄、服の着脱の生活に必要な基本的	衛生感覚が身につくよう支援する					
	運動・感覚	・子供たちそれぞれの特性や発達状況を把握し、個別支援計画に基づく無理のない支援を行っていく。 ・ラジオ体操、好きな音楽やリズムに合わせたリズム運動で、運動動作の向上を図る。 ・自然体験活動として、近くの公園に出かけ季節の植物や昆虫類に触れる機会をもうけ、遊具を楽しみ、体力つくりを行う。						
		・制作活動では、季節の壁面制作や工作遊びを通して、文房具(ハサミやのり、ボンド等)の使い方や手先の使い方が修得できるように関わります。 ・段ボール工作では、造形制作でビー玉転がしを作ったり、児の特性や興味のあるものに取り組めるよう、環境を整えてスタッフが一緒に行います。 ・自由時間をもうけ、他児と遊びの中で友達関係の構築を促します。						
	言語コミュニケーション	・言葉が難しい子供達においては、児の特性に応じてジェスチャーや身振り手振り、ベビーサインや手話サインを活用し、自己表現が他者に伝わる喜びを体験できる様支援していく。 ・お話し会や帰りの会、お誕生会等では、自身の意思を表現できる機会を作っている。 ・自分の名前をひらがな、カタカナ、漢字で書く事が出来る様アップル独自のプリントを作り活用している。自分の家の両親に手紙を書く事が出来る様住所を書く練習もしている。						
	人間関係 社会性	・他児との設定遊びを通じて、順番やルールを守る等、日常生活の決まり事について、理解できるように職員が関わっている。 ・言葉使いや挨拶の言葉、悪い言葉使いについても、機会をとらえ、その都度注意をしたり、指導をしている。 ・子供の特性に応じ職員と身近で親密な関係を築き、落ち着いた行動が取れるようにする。 ・一人遊びが中心の子供には、職員が深く介在し、友達と遊ぶ喜びを感じられるように支援する。						
家族支援		・保護者間の交流も踏まえ年1回の保護者会を行 ・学校、相談支援事業者、行政等と密に連絡を ・送迎時には、当日の様子を報告し常に相談し ・長期休暇、土曜日等には、保護者就労に合わ	取り会う。 やすい環境を作る。	移行支援	・高校卒業後の進路に合・交通機関の利用体験	わせた支援をする	5.	
地域支援・地域連携		・市内施設の利用:図書館、体育館、消防署等 ・子ども食堂に参加し、大人や他児との触れ合 ・地域の公園(健康の森梅ノ子運動公園、今津 運動公園)を活用し、社会体験の機会としてい	い。 総合運動公園、福井大飯町総合	職員の質の向上	・定期的な研修 ・資格取得の支援:費用 ・働きやすい職場環境の のストレス軽減を図って	整備、ワークライ	イフバランスの	)推奨に努め、職員
	主な行事等	・4月:祝進級、新しいお友達歓迎会・名 ・年1回消防署に依頼する避難訓練、消火訓練 ・夏の長期休暇中に、若狭高浜エルどらんど、	3月行事:避難訓練、お誕生会 敦賀原子力の科学館あっとほうむ	3月:祝卒業会				